

令和8年度 学校評価（後期）について

春暖の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。学校評価は本校の教育活動その他学校運営の状況について自ら評価を行い、その結果を公表するとともに、今後に生かしていくためのものです。これからも、保護者の皆様と学校との協力のもと、よりよい教育活動を目指してまいります。

<児童の評価より>

前回比 プラス0.2以上○ マイナス0.2以上△

	質問内容	児童			
		R6/7	R7/2	R7/7	R8/2
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方にあいさつしていますか。	3.5	3.4	3.5	3.4
②	いつも、お友だちにやさしい心で、あたたかい言葉かけをしていますか。	3.4	3.3	○3.5	3.4
③	いじめやけんかをせず、友だちとなかよく生活していますか。	3.5	3.4	○3.6	3.5
④	学校では自分から進んで勉強しようとしていますか。	3.4	3.3	3.4	3.3
⑤	学校で勉強したことが、よくわかっていますか。	3.5	3.4	3.5	3.5
⑥	お家で毎日、進んで勉強していますか。	3.2	3.1	3.2	3.1
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動していますか。	3.5	3.5	3.5	3.5
⑧	早寝、早起きをし、朝ごはんを食べ、規則正しい生活をしていますか。	3.4	△3.2	3.3	3.3
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していますか。	3.7	3.6	3.7	3.7
⑩	学校での出来事を家の人にきちんとお話していますか。	3.3	3.3	3.4	3.3
⑪	先生は、健康や安全などの大切なお話をよくしてくれますか。	3.7	3.6	○3.8	3.7
⑫	先生は相談したこと、質問したことに、よく答えてくれますか。	3.7	3.6	3.7	3.6
⑬	学校や学級での生活は楽しいですか。	3.6	3.6	3.7	3.6
⑭	学校の中で悩みや不安はない。	3.5	3.4	3.4	3.5
⑮	自分の目標やめあてを達成するために、あきらめずに努力をしていますか。	3.5	3.4	3.5	3.5
⑯	自分にはよいところがあると思いますか。	3.3	3.2	3.3	3.2

・「そう思う」4点、「すこしそう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「ほとんど思わない」1点として集計し、平均を出したものが上の表です。

<児童のアンケート結果からの傾向と対策>

今回の調査でも、これまでの推移と同様に全ての項目が3ポイント以上を維持しており、全体的に児童の評価は高い傾向にあります。

個別の項目に目を向けると、「⑭学校の中での悩みや不安はない」が前回の3.4から3.5へと上昇しました。このことから、児童が学校生活において安心感を持って過ごしていることがうかがえます。また、「⑨ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していますか」も3.7という高い数値を継続しており、集団生活における規律意識が根付いていることが感じられます。

一方で、「⑥お家で毎日、進んで勉強していますか」は3.1と、依然として他の項目に比べて低くなっており、家庭学習の習慣化が引き続きの課題です。また、「⑯自分にはよいところがあると思いますか」も3.2に留まっています。これらについては、ご家庭と学校が連携し、児童の小さな頑張りやよさを認めていくことで、学習意欲の向上と自己肯定感の育成につなげていけるよう、よりよい指導方法について検討してまいります。

	質問内容	保護者		教員	
		R7/7	R8/2	R7/7	R8/2
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方に挨拶ができていると思われませんか。	3.2	3.2	3.6	3.7
②	やさしい心で、あたたかい言葉かけをしていると思われませんか。	3.3	3.4	3.8	3.7
③	思いやりの心もち、良い友だち関係をつくっていると思われませんか。	3.4	3.5	3.7	3.8
④	進んで学習しようとする姿勢や意欲がみられると思われませんか。	2.9	3.0	3.3	○3.5
⑤	学校での学習の内容をよく理解していると思われませんか。	3.1	3.2	3.6	3.6
⑥	家庭で毎日、進んで勉強していますか。	2.7	2.7	3.0	○3.2
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動する姿勢がみられましたか。	3.1	3.1	3.0	○3.4
⑧	早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができていると思われませんか。	3.2	3.2	3.3	○3.5
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していると思われませんか。	3.5	3.5	3.8	3.7
⑩	学校での活動の様子がお子様から家庭に伝わっていると思われませんか。	3.0	3.1	3.0	○3.2
⑪	学校は家庭に必要な情報をタイムリーに提供していると思いますか。	3.3	3.3	3.5	3.4
⑫	学校は保護者からの連絡・相談に対して、適切に対応していると思われませんか。	3.5	3.5	3.5	○3.7
⑬	学校や学級で楽しく過ごしていると思われませんか。	3.5	3.5	3.7	3.7
⑭	学校生活に悩みや不安はないと思われませんか。	3.0	3.0	2.9	○3.1
⑮	自分のめあてや目標を達成するために、あきらめずに努力をしていると思われませんか。	3.1	3.1	2.9	○3.2
⑯	学校は児童のよさを生かし、伸ばすことを意識して教育活動を行っていると思われませんか。	3.3	3.3	3.5	3.5

<保護者及び教職員の自己評価から見られる課題と対応>

保護者の皆様からの評価については、全体として大きな変化はありません。児童のアンケート結果でも課題となっていた「⑥家庭で毎日、進んで勉強していますか」については、学校での学びが家庭での意欲的な学習に繋がるよう、引き続き連携とご協力をお願いいたします。

教職員アンケートでは、多くの項目で肯定的な変化が見られました。特に、前回課題となっていた「⑦進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動する姿勢がみられましたか」が3.0から3.4へと大幅に改善しました。これは、暑さが落ち着いた後期において、計画的に外遊びや運動の機会を確保できた成果と捉えています。また、「⑭学校生活に悩みや不安はないと思われませんか」や「⑮自分のめあてや目標を達成するために、あきらめずに努力をしていると思われませんか」も上昇しており、児童が安心して過ごせていることや、前向きな姿勢を見せていることを教員も実感しています。

これらの上昇・維持している項目内容を大切にしつつ、児童がさらに自信を持って主体的に活動できるよう、ご家庭との連携をさらに深めながら、指導・支援の充実に努めてまいります。

<保護者の皆様からのご意見・要望について>

ご意見・ご質問に関しての回答です。全体に向けてお知らせすべき内容のものをまとめました。

- ・「クラス替え」についてのご意見、ご質問がありました。学級編制においては多くの項目、要素が考慮されます。「学力」はその中の一項目に過ぎず、そのみでクラスを分けることはありません。その学年の児童全体にとって最もよいと思われる編制となるよう、関係する職員が何度も議論を重ねた上で決定されます。ただ、放課後の過ごし方、交友関係など、学校職員よりも保護者の皆様の方が詳しくご存じの情報もあります。年に2回実施される個人面談などを活用し、ご家庭との情報共有を大切にすることで、さらにより編制となるようにしてまいります。

- ・ギガタブの持ち帰りについて、いくつかご意見をいただきました。千葉市の方針として持ち帰りが推奨されており、本校でも中・高学年を中心に持ち帰りを実施しております。ただ、「重い荷物になっているだけなのではないか」というご意見につきましては、学校全体でさらに効果的な活用方法について検討、実施できるようにしてまいります。また、次年度はギガタブが新しい機種に更新されます。機能が向上するだけでなく、重量についても現在の機種よりも軽くなり、持ち帰りの負担が軽減されます。
- ・懇談会の際に実施される、「児童あずかり」の対象を拡大してほしいというご要望がありました。その時間、各担任は保護者の皆様と懇談会をしており、少数の職員であずかりを実施しております。安全上の問題、スペースの問題等から、無制限に対象を広げるのは難しいというのが現状です。次年度4月の懇談会では「3年生」まで対象を広げての実施を検討しておりますが、「あずかり」以外の方法がないか、各ご家庭でも相談していただければ幸いです。
- ・「毎週上履きを持ち帰る必要があるか」というご質問がありました。確かに、見た目はそれほど汚れていない上履きを持ち帰ることも多いかもしれません。ただ、児童は朝から下校までずっと上履きを履いて過ごします。目には見えませんが、上履きは非常に多くの汗を吸っていると言われております。また、習慣化の問題があります。「週の終わりには上履きを持ち帰り、きれいにして翌週持ってくる。」というサイクルを繰り返すことは、「身の回りのものを清潔に保つ意識や習慣」が身に付くことにつながります。2週間に一度にしてしまいますと、混乱が生じたり、定着が難しかったりするという問題が生じます。上履きを洗うご負担は大きいかと思いますが、以上のような理由から毎週の持ち帰りにご理解、ご協力をお願いします。
- ・「集団登校はないのか」というご質問もありました。他市、他県では伝統的に「町内会、子ども会、PTA」等が主体となった集団登校が残っている地域もありますが、新たに組織づくり、管理、運営をそれらの団体に負担していただくことは現実的ではありません。そこで千葉市では、集団下校ではなく「学校セーフティウォッチ事業」の推進によって登下校の安全確保を図っております。西の谷会校外育成部の皆様が運営する「見守り当番」もセーフティウォッチ活動の一つに該当します。また、地域に住む有志の方もセーフティウォッチャーとして登録し、毎朝のように児童の登校を見守ってくださっております。千葉市ではその他にも「通勤」「散歩」「買い物」等、外に出る時間を児童の登下校や放課後の時間に合わせることで、大きな負担なく見守りをさせていただく「ながら見守り」も奨励しております。ご家庭それぞれのご都合もあるかと思いますが、可能な範囲での見守りにご協力をお願いいたします。

★寄せられたご意見、ご質問の中には、類似の内容を今年度前期および昨年度に回答済みのものもありました。昨年度、一昨年度の内容は「学校ホームページ」、前期学校評価の内容は11月5日配信の「すぐーる」でご確認いただけます。

その他の内容につきましても、今後の学校運営に生かしてまいります。

貴重なご意見、ありがとうございました。